

いちがお園だより

発行 社会福祉法人はしうど福祉会
発行日 平成28年1月1日
No.253



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中ははしうど福祉会（いちがお園）の事業運営にひとたならぬご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、昨年はいちがお園の第二次改修工事が施工され、各ユニット毎（ご利用者様12名～14名の小集団）に2か所のトイレ、1か所の家庭浴が完成しました。特浴・中間浴等の機械浴を無くし、「自分たちが入りたい普通の風呂」化がなされました。このようなチャレンジができたのは、元気の素代表の上野文規氏（介護技術の先生）の指導を10年受け、足にあざを作りながら技術を必死に身につけた職員たちが当園にいるからです。「介護は人なり」の所以はこの事にも当てはまります。法人としては今後も人材を人財と呼び、職員を大切にしていくことが、良いケアへの近道と考えています。

いちがお園は「私達は、地域の皆様に信頼され、愛される施設を目指します」という理念のもとで活動しています。私達の使命は、良質な高齢者福祉サービス（ケア）の提供です。そして良いケアは私達の売り（商品）であり生命線です。ケアに自信を持ち、実践できなければ私達は使命を果たす事もできず、地域の皆様より存在意義をいただき、信頼を得、愛される施設にはなりません。私達は理念を実現できなくなります。

私達は引き続き、介護のプロ集団として、地域の皆様に良いケアの提供を通じて貢献し続けます。その事が地域の皆様から「いちがお園があって良かったね」と言われることに繋がります。そして、私達のモチベーションとなります。役職員一同、更なる努力を誓う次第です。

皆様にとって、本年が輝きを放った良き1年でありますことをご祈念申し上げるとともに、変わらぬご支援とご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成28年 元日

社会福祉法人 はしうど福祉会 理事長
特別養護老人ホーム いちがお園施設長

蒲田 淳
吉岡 年光



施設から初日の出を拝み、穏やかに1年の始まりを迎えるました

社会福祉法人はしうど福祉会 法人理念

【理念】私達は地域の皆様に信頼され、愛される施設を目指します
(品質)私達は『自分が受けたいサービス』という観点で最高品の福祉サービスの提供に努めます
(創造)私達は、現状に満足する事なく、常に改善を試み、より良いサービスを創造し続けます
(職員)私達は向上の精神を忘れることなく、常に自己研鑽に励み、良きサービス提供者であり続けます。



特養

認知症ケア ユマニチュードの取り組み

特養では、昨年より引き続き、身体拘束と認知症ケアの取り組みということで「ユマニチュード」の実践を行っています。ユマニチュードは誰もが学べ、実践できるケアの方法です。
ユマニチュードは「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの基本の柱を中心に150の手法で構成されています

今回は「見る」についての取り組みをご紹介します。

認知機能が低下していると、外部からの情報を受け取れる範囲が狭くなってしまいます。情報の入り口である視野も狭くなっている可能性があります。唐突に何か現れた!と感じられ、驚いて叫んだり、暴力をふるったりすることがあるかもしれません。これは攻撃ではなく、いきなり自分の周りで起こった出来事に驚いて、自分を守ろうとしている防御です。

『見る』ことで

*相手を大切にしている事が伝わりやすくなります

*ただ相手の目を見るだけではなく、視線をつかみに行く事が重要です

*意識して、相手の視界の中に入るように動線を描きながら近づき、常に相手の視線をとらえるよう顔を動かします

「見る」という行為が相手に与えるメッセージは

- | | |
|--------------|-----------|
| 水平に目線を合わせると | 「平等」 |
| 正面から見ると | 「正直・信頼」 |
| 顔を近づけると | 「やさしさ・親密」 |
| 見つめる時間を長くとると | 「友情・愛情」 |



4つの基本の柱を元に、「ユマニチュード」の手法を使い、ケアを行っていく取り組みを続けていきます。



クラフト活動 手芸クラブ



生花クラブ

いちがお園手芸クラブは平成26年度より手縫い雑巾の技術で『学校支援ボランティア』に団体登録しています。
「針に糸が通らないけど直線縫いならできる」「糸は通せるけど、手がしごれて縫えない」など色々な方がおられます。それぞれできること・できないことをフォローしあいながら、サポートを受けるばかりではなく、地域住民の1人として何か役に立てることはいかと考え、登録しました。

今年度は丹後こども園より雑巾41枚の依頼の連絡がありました。3月の〆切に向けて、いちがお園のサービスを利用していただいている皆さんで仕上げたいと思います。

12月のボランティア様

特養

井上尚樹様 むつみ会様

いわき

宗村様 吉岡様

あきば

エプロン様

クラブ

東恵美子様 廣瀬保子様



ありがとうございました

1月の予定

クラブの予定

生花 5日 手芸 8日 22日

書道 4日

12日 いわきの里新年会

17日 あきばの里新年会

18日 あきばの里・間人小5年交流会

24日 特養新年会

グループホーム福引大会

27日 あきばの里運営推進会議

出張茶話会 in 徳光

血圧
いいですね



年末は大忙し

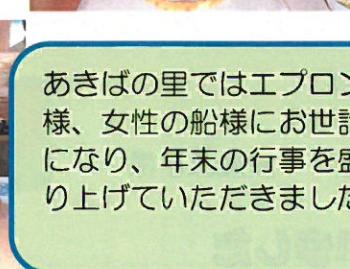
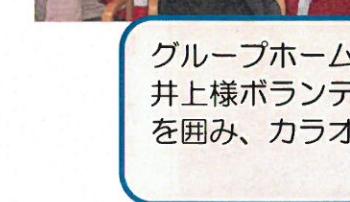


地域の方の協力もあり終始、笑いのたえない茶話会でした。今回は看護師も参加しました。

今年の目玉は
ギャルサンタ！？



岩木の子供会さんと一緒にいました。
餅つき経験ありの子供さんは心強かったです！



餅つき大会

あきばの里ではエプロン様、女性の船様にお世話になり、年末の行事を盛り上げていただきました。



特養 相談員

ユニット改修工事も終わりトイレとお風呂が整備されました。入居者の皆様が安心してゆったりと、毎日笑顔で生活していくだけるようにサポートしていきます。

事業所 今年の抱負



厨房

少しでも皆様に美味しく食べていただけるよう、厨房職員一同、日々努力し、愛情をこめて作ってまいります

ヘルパーステーション

お一人お一人の人生、生活、人間関係を大切にし、ご利用者の意欲や能力を引き出しながら、住み慣れた我が家で生きがいを持って生活できるよう支援させていただきます

デイサービス

ご家族様、本人様の思いを大切にし、ご本人の持つておられる力をしっかりと出していただける、お気持ちに寄り添えるケアを進めています。

訪問入浴

ご自宅での生活が訪問入浴での関わりを通して、安心でき楽しみが持てるお力添えができるようにしていきます

ショートステイ

ご利用者にとってショートステイが楽猿（らくえん）になりますよう、ご希望に沿った対応ができるようにしていきます

特養 医務

日々の小さな変化にも気付き、少しでも不安を和らげるよう努めます

特養 ユニット職員一同

新しいトイレやお風呂が完成し、お部屋から近くで行きやすくなりました。できる力を生かし、自分らしく生活できるよう援助します。穏やかな日常が過ごせるよう努めています

在宅介護支援センター

誰もが自分らしく、生きがいを持ち、人とつながって日々過ごせるよう、ご利用者やご家族と一緒に考えていきます。手芸クラブや雑巾ボランティアなどを通じて、ご利用者が力を発揮でき、地域とつながっていけるよう頑張りたいと思います

グループホーム

入居者平均年齢90.3歳。食欲旺盛、元気モリモリ！今年も皆で頑張ります

いわきの里

地域を知り、ご利用者を知り、いわきの里を知っていただく為に、今年も地域に出向いて行きたいと思います。
いわきの里が居心地の良い場所になるように努めてまいります

あきばの里

地域の力をお借りしながらご利用者に喜んでいただけるサービスを提供いたします

良い年でありますように